

数学検定

数学技能の習熟度を測る 実力・絶対評価システム。

日本数学検定協会が実施する実用数学技能検定は、数学・算数に関する検定のスタンダード。数理情報学科では、団体受検や、学生や地域の中学生・高校生みなさんがともに学ぶ勉強会を通して、数学検定合格をサポートしています。数学の本質を理解しているかが問われる教員、システム・ソフトウェア技術者といったIT系の専門職、あるいは進学を目指す人に求められる評価システムといえます。数学教師になるための必須条件とも言えるのが、準1級。その受検に挑戦した中村恭平さんは、学内最優秀の成績で合格しました。中村さんはこの経験を活かし、教員の補佐として本学での数学検定勉強会に参加する中学生・高校生を指導しています。



龍谷大学から贈られた表彰状
「高校数学コンクール最優秀賞」



日本数学検定協会から発行された
「実用数学技能検定 合格証」



中村 恭兵さん
数理情報学科 3年生
(京都府立桃山高校 出身)

数学の実力を測るには、数学検定が一番です。わたしは個人で問題集に取り組むだけでなく、勉強会で他の受検者と教え合うことで、幅広い出題範囲をカバーできました。検定のための勉強は、4年生の研究に必要な基礎固めにも役立っています。教員採用試験後は、1級の試験に挑戦するつもりです。